

厚生労働大臣 外添要一殿

学校法人 近畿大学
理事長 世耕弘

近畿大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成19年度の業務に関して報告します。
記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	158人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	400人	68人	410.3人	看護業務補助	87人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	9人	11人	11.7人	理学療法士	11人	臨床検査技師	88人
薬剤師	54人	12人	60.7人	作業療法士	3人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	8人	鍼灸その他の	0人
助産師	22人	0人	0.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	831人	27人	847.5人	臨床工学技士	10人	医療社会事業従事者	3人
准看護師	2人	1人	2.8人	栄養士	0人	その他の技術員	30人
歯科衛生士	2人	2人	3.4人	歯科技工士	2人	事務職員	339人
管理栄養士	6人	3人	9.0人	診療放射線技師	45人	その他の職員	11人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	786人	2人	788人
1日当たり平均外来患者数	2317人	65人	2382人
1日当たり平均調剤数		4388.1剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・無	人
胎児心超音波検査	有・無	人
インプラント義歯	有・無	人
顎顔面補綴	有・無	人
顎関節症の補綴学的治療	有・無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術	有・無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	人
CTガイド下気管支鏡検査	有・無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	人
腹腔鏡下肝部分切除術	有・無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療	有・無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	人
成長障害のDNA診断	有・無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	人
ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・無	人
神経変性疾患のDNA診断	有・無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	6人
重粒子線治療	有・無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
31鱗一磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	人
神経芽腫のRNA診断	有・無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素凍結骨移植	有・無	人
肺腫瘍に対する腹腔鏡補助下肺切除術	有・無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・無	人
超音波骨折治療法	有・無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・無	人
膀胱水圧拡張術	有・無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術	有・無	人
骨移動術による関節温存型再建	有・無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍)	有・無	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	177人
カフェイン併用化学療法	有・無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ペーチェット病	83人	・モヤモヤ病(ウィルス動脈輪閉塞症)	15人
・多発性硬化症	70人	・ウェグナー肉芽腫症	7人
・重症筋無力症	91人	・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	38人
・全身性エリテマトーデス	310人	・多系統萎縮症	33人
・スモン	10人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人
・再生不良性貧血	53人	・膿疱性乾癬	14人
・サルコイドーシス	82人	・広範脊柱管狭窄症	4人
・筋萎縮性側索硬化症	49人	・原発性胆汁性肝硬変	30人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	181人	・重症急性膵炎	17人
・特発性血小板減少性紫斑病	115人	・特発性大腿骨頭壊死症	42人
・結節性動脈周囲炎	23人	・混合性結合組織病	51人
・潰瘍性大腸炎	174人	・原発性免疫不全症候群	4人
・大動脈炎症候群	26人	・特発性間質性肺炎	23人
・ビュルガー病	13人	・網膜色素変性症	123人
・天疱瘡	21人	・プリオン病	3人
・脊髄小脳変性症	53人	・原発性肺高血圧症	3人
・クローン病	57人	・神経線維腫症	22人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	5人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	17人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・ペーキンソン病関連疾患	327人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	3人
・アミロイドーシス	4人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	0人
・後縦靭帯骨化症	73人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	3人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	32回	
剖 檢 の 状 況	剖検症例数 74例	剖検率 10.2%

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1型糖尿病の早期発見・治療を介して患者予後改善に資する発症予知システムの構築	馬場谷 成	内分泌・代謝・糖尿病内科	2,400,000円	文部科学省 平成19年度科学研究費補助金(若手研究(B)) 補委
1型糖尿病関連抗体(抗インスリン抗体、抗GAD抗体、抗IA-2抗体)のELISA法による高感度かつ簡便な検出法の臨床応用に向けた開発	馬場谷 成	内分泌・代謝・糖尿病内科	450,000円	近畿大学平成19年度学内研究助成金(奨励) 補委
1型糖尿病の遺伝素因:候補遺伝子多型の同定と関連解析	池上 博司	内分泌・代謝・糖尿病内科	2,980,000円	平成19年度私立大学等経常費補助金特別補助(高度化の推進) 補委
糖尿病の全ゲノム解析と成因分類に基づくデーターメイド医療の構築に関する研究	池上 博司	内分泌・代謝・糖尿病内科	7,000,000円	独立行政法人医薬基盤研究所平成19年度委託業務 補委
脳動静脈奇形手術における術中超音波の有用性の評価	寺本 佳史	脳神経外科	1,500,000	大阪難病研究財団 補委
悪性脳腫瘍に対するミクログリアを介した抗腫瘍治療法の開発	奥田 武司	脳神経外科	1,100,000	文部科学省 補委
バイオメディカルフォトニックLSIの創成:機能的脳疾患医療応用の検討	加藤 天美	脳神経外科	78,000,000	科学技術振興機構 補委
IT化RFIDを利用した治療の安全管理	加藤 天美	脳神経外科	1,061,000	科学技術振興機構 補委
強度変調放射線療法による標的体積同時ブーストの確立	西村 恭昌	放射線科(腫瘍学部門)	1,300,000円	文部科学省 科学研究費 基盤研究(C) 補委
早期の癌に対する標準的放射線治療方法確立のための臨床研究	西村 恭昌	放射線科(腫瘍学部門)	450,000円	文部科学省 科学研究費 基盤研究(A) 補委
放射線治療期間の短縮に関する多施設共同臨床試験の確立に関する研究	西村 恭昌	放射線科(腫瘍学部門)	800,000円	厚生労働省 がん研究助成金 補委
切除不能Ⅲ期非小細胞肺がんに対する標準的治療法の確立に関する研究	西村 恭昌	放射線科(腫瘍学部門)	500,000円	厚生労働科学研究補助金 補委
PET-CTシミュレーションによる高精度放射線治療計画の研究	中松 清志	放射線科(腫瘍学部門)	1,000,000円	医用原子力技術研究振興財団 補委
磁気共鳴による集束超音波治療のためのホットスポット追尾自己参照式温度分布画像計測	村上 卓道	放射線科(診断学部門)	3,400,000円	日本学術振興会 補委
原発不明がんの診断・効果的治療の確立に関する研究	中川 和彦	腫瘍内科	22,779,000円	厚生労働省 補委
限局型小細胞肺がんに対する新たな標準的治療の確立に関する研究	中川 和彦	腫瘍内科	1,000,000円	厚生労働省 補委
呼吸器悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	中川 和彦	腫瘍内科	1,300,000円	厚生労働省 補委
再発小細胞肺がんに対する標準的治療法の確立に関する研究	中川 和彦	腫瘍内科	1,000,000円	厚生労働省 補委
新しい薬物療法の導入とその最適化に関する研究	中川 和彦	腫瘍内科	4,000,000円	厚生労働省 補委
切除不能Ⅲ期非小細胞肺がんに対する標準的治療法の確立に関する研究	中川 和彦	腫瘍内科	700,000円	厚生労働省 補委
原発不明がんの診断・効果的治療の確立に関する研究	岡本 勇	腫瘍内科	700,000円	厚生労働省 補委
再発肺癌のゲノミクス/メロキシカム併用の臨床試験とトランスレーショナルリサーチ	佐藤 太郎	腫瘍内科	900,000円	文部科学省 補委

計 22

Long-term functional outcome of colonic J-pouch reconstruction after low anterior resection for rectal cancer	肥田 仁一	下部消化管外科	500,000円	補委	日本外科学会
「進行胃がんに対する外科的集学的治療の研究」	塩崎 均	上部消化管外科	900,000円	補委	厚生労働省がん研究助成金17指一3「消化器悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究」班
「進行胃癌に対する漢方治療の有効性」	塩崎 均	上部消化管外科	700,000円	補委	厚生労働省がん研究助成金 医療一般-038
オーダーメイド乳癌化学療法を目指した乳癌幹細胞の分離とその生物学的特性の解析	綿谷 正弘	肺・乳腺内分泌外科	13,000,000円	補委	科学研究費補助金
ヒト培養角膜内皮細胞を用いた角膜内皮炎モデルの作成	杉岡 孝二	眼科	1,100,000円	補委	文部省科学研究費補助金
HSV-1ワクチンの開発	菅原 大輔	眼科	2,000,000円	補委	文部省科学研究費補助金
SPARC由来ペプチドTCPLによる増殖性硝子体網膜症の抑制	阿部 考助	眼科	1,500,000円	補委	大阪難病研究財団
サプリメントにおけるサイクロオキシナーゼ阻害点眼薬・内服薬によるマウスヘルペス性角膜炎の再活性化抑制	檜垣 史郎	眼科	425,000円	補委	財団法人大阪アイバンク
細胞・組織工学を駆使した先端治療学の研究・開発(分担研究課題:再生指骨・耳介軟骨組織における分化・再生機構の基礎的研究と臨床応用)	磯貝 典孝	形成外科	396,780,000円	補委	文部科学省ハイテククリサーチ整備事業
Mineral-matrix relations in calcifying tissues	W.J.Landis	整形外科	254,120,000円	補委	米国NIH grant(AR41452)
BMP induced bioengineered bone flaps	B.C.Cooley	整形外科	12,200,000円	補委	米国NIH grant(NH seed grant)
メニカルテストを用いた再生耳介軟骨の物理的性状の検討	磯貝 典孝	形成外科	4,310,000円	補委	文部科学省科学研究費
遊離組織移植の生着率向上のための血管吻合手技と管理法の確立	笛栗 正明	形成外科	7,810,000円	補委	文部科学省科学研究費
難知性白血病に対する標準的治療法の確立に関する研究	金丸 昭久	血液内科	900,000円	補委	厚生労働科学研究費補助金がん臨床事業
特発性造血障害に関する調査研究	金丸 昭久	血液内科	900,000円	補委	厚生労働科学研究費補助金難知性疾患克服研究事業
高齢者高血圧コホート研究	金政 健	高血圧・老年内科	230,000円	補委	公益信託日本動脈硬化予防研究基金
心不全発症における脳一脂肪細胞系の関与とそれを応用した新規治療法の開発	岩永 善高	循環器内科	1,700,000円	補委	日本学術振興会科学研究費基盤C
「肥満と心不全;脂質代謝異常とアディポカインからの基礎的検討」	岩永 善高	循環器内科	1,000,000円	補委	小野医学研究財団
長期遠隔成績からみた糖尿病患者に対する至適冠血行再建法に関する研究	宮崎 俊一	循環器内科	300,000円	補委	厚生労働省
軽症糖尿病における早期薬物介入による動脈硬化性疾患の進展予防効果に関する臨床研究	宮崎 俊一	循環器内科	1,500,000円	補委	循環器病研究振興財団
乳児型ネフロンろう責任遺伝子の変異と臨床表現型の多様性	竹村 司	小児科	600,000円	補委	森永奉仕会
精密血流動態解析法の新規開発による動・門脈血流の分離定量評価と肝発癌研究への応用(基盤研究B)平成19年度	工藤 正俊	消化器内科	2,860,000円	補委	文部科学省

計 22

超音波内視鏡下バイオセンサー穿刺法の開発と腫瘍疾患の局所病態評価への応用(基盤研究C)平成19年度	北野 雅之	消化器内科	1,560,000円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委	文部科学省
うつ症状の客観的評価に対する補助診断法の開発に関する研究	北野 雅之	消化器内科	1,400,000円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委	厚生労働省
腎癌に対するペプチドを用いたテラーメイド癌ワクチン療法の開発	植村 天受	消化器内科	11,700,000円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委	科学研究費補助金
前立腺癌に対する、次世代分子治療戦略	田中 基幹	泌尿器科	3,510,000円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委	科学研究費補助金
表皮発現型蛋白質アルギニン脱イミノ酵素の転写制御因子の解明と機能解析	川田 晓	皮膚科	3,500,000円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委	文部科学省科学研究費補助金
ヒト毛囊キューティクルS100蛋白質の脱イミノ化反応に関する研究	川田 晓	皮膚科	1,490,000円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委	平成19年度私立大学等経常費補助金特別補助「研究科特別経費-研究科分」日本私立学校振興・共済事業
脊髄における電位依存性カルシウムチャネルの神経因性疼痛への関与	高杉 嘉弘	麻酔科	3,016,000円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委	私立大学経常費補助金大学院教育研究高度化支援メニューパーク平成19年度研究科特別経費・研究科分
リドカインによる血液線溶能の変化	梶川 竜治	麻酔科	1,500,000円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委	大阪難病研究財団医学研究助成
抗原受容体遺伝子の再構成における対立遺伝子排除の生理的意義に関する免疫学的研究	植嶋 利文	救命救急センター	1,888,000円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委	H19年度私学等経常費補助金特別補助(地域共同研究・支援)
アセトアミノフェン肝障害におけるサイトカインの役割に関する研究	石部 琢也	救命救急センター	442,000円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委	H19年度私学等経常費補助金特別補助—研究科特別経費(学生分)

計 10

合計 54件

(注) 1 國、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
看護技術52(4)	中心静脈カテーテル	坂田 育弘	救命救急センター
救急医学31(3)	窒素バランス	坂田 育弘	救命救急センター
救急医学31(7)	高齢者熱傷	松島 知秀	救命救急センター
これだけは知っておきたい中毒診療 Q&A 救急・集中治療	酸／アルカリの誤嚥	山本 雄豊	救命救急センター
日本救急医学会雑誌18(9)	一酸化炭素中毒に対する治療経過中に発症した非クロストリジウム性ガス壊疽の1救命例	濱口 満英	救命救急センター
Dig Dis and Sci	Quantitative tissue blood flow measurement of the liver parenchyma: Comparison between xenon CT and perfusion CT.	Murakami T	放射線科(診断学部門)
J Comput Assist Tomogr	Preoperative evaluation of perigastric vascular anatomy by 3-dimensional computed tomographic angiography using 16-channel multidetector-row computed tomography for laparoscopic gastrectomy in patients with early gastric cancer.	Kumano S	放射線科(診断学部門)
Invest Radiol	Potential of gadolinium-ethoxybenzyl-diethylenetriamine pentaacetic acid (Gd-EOB-DTPA) for differential diagnosis of nonalcoholic steatohepatitis and fatty liver in rats using magnetic resonance imaging.	Murakami T	放射線科(診断学部門)
Acta Radiol	Technical optimization of four-channel multidetector-row helical computed tomography for depicting arterial stenosis: a phantom study.	Murakami T	放射線科(診断学部門)
Radiology	Hepatocellular Carcinoma in Patients with Nonalcoholic Fatty Liver Disease: Helical CT and MR Imaging Findings with Clinical-Pathologic Comparison.	Murakami T	放射線科(診断学部門)
Magn Reson Med Sci	Whole-body MRI for detecting metastatic bone tumor : Diagnostic value of diffusion-weighted images.	Murakami T	放射線科(診断学部門)
J Magn Reson Imaging	Passariello R. Focal nodular hyperplasia: intraindividual comparison of dynamic gadobenate dimeglumine- and ferucarbotran-enhanced magnetic resonance imaging.	Murakami T	放射線科(診断学部門)
Hepatol Res	New chemotherapy for patients with advanced hepatocellular carcinoma: Pilot study of beta-interferon and doxorubicin one-shot intra-arterial chemotherapy.	Murakami T	放射線科(診断学部門)
Hepatol Res	Hypervasculär hepatocellular carcinoma: Combined dynamic MDCT and SPIO-enhanced MRI versus combined CTHA and CTAP.s.	Murakami T	放射線科(診断学部門)
J Magn Reson Imaging	Hepatocellular carcinoma treated with radio frequency ablation: An early evaluation with magnetic resonance imaging.	Murakami T	放射線科(診断学部門)
日本臨床	巨赤芽球性貧血	金丸 昭久	血液内科
医学と薬学	成人再生不良性貧血	森田 泰慶	血液内科
Hematorogy	ALL-trans retinoic acid attacks reverse transcriptase resulting in inhibition of HIV-1 replication	前田 裕弘	血液内科
CLIN.Lab	Partial Restoration of Immunoglobulin Production by Cytokines in Common Variable Immunodeficiency	前田 裕弘	血液内科
BoneMarrow Transplantation	Prophylactic fresh frozen plasma may prevent development of hepatic VOD after stem cell transplantation via ADAMTS13-mediated restoration of von Willebrand factor plasma levrls	金丸 昭久	血液内科
Ann Hematol	Correlation between promoter hypermethylation of GSTP1 and response to chemotherapy in diffuse large B cell lymphoma	金丸 昭久	血液内科

計 21

日本臨床	鉄欠乏性貧血	金丸 昭久	血液内科
総合臨床	鉄欠乏性貧血	金丸 昭久	血液内科
医薬品副作用ハンドブック	巨赤芽球性貧血	金丸 昭久	血液内科
American Journal of Hematology	Diffuse large B-cell in the young in Japan: A study by the Osaka Lymphoma Study Group	金丸 昭久	血液内科
J Cancer Res Clin Oncol	Clinical efficacy of all-trans acid for treating adult T cell leukemia	前田 裕弘	血液内科
Leukemia Research	Cross-killing phenomenon during induction of cytotoxic activity against autologous leukemic cells or autologous Epstein-Barr virus-transformed lymphoblastoid B-cell line	前田 裕弘	血液内科
Leukemia & Lymphoma	The expression of anamorsin in diffuse B cell lymphoma: Possible prognostic biomarker for low IPI patients	金丸 昭久	血液内科
J Clin Endocrinol Metab	Association of small ubiquitin-like modifier 4 (SUMO4) variant, located in IDDM5 locus, with Type2 diabetes in the Japanese population.	能宗 伸輔	内分泌・代謝・糖尿病内科
Metabolism	Trinucleotide repeats of programmed cell death-1 gene (PDCD1) are associated with susceptibility to type 1 diabetes.	廣峰 義久	内分泌・代謝・糖尿病内科
Diabetes	Prevention and treatment of obesity, insulin resistance and diabetes by bile acid binding resin.	池上 博司	内分泌・代謝・糖尿病内科
J Clin Endocrinol Metab	Insulin Gene/IDDM2 locus in Japanese type1 diabetes: Contribution of Class I alleles and influence of Class I subdivision in susceptibility to type 1 Diabetes.	池上 博司	内分泌・代謝・糖尿病内科
Diabetologia	Fatty liver and obesity: phenotypically correlated but genetically distinct traits in a mouse model of type 2 diabetes.	池上 博司	内分泌・代謝・糖尿病内科
Hum Immunol	Molecular scanning of IL-21 gene and genetic susceptibility to type 1 diabetes.	池上 博司	内分泌・代謝・糖尿病内科
Diabetes Res Clin Pract.	Genetics of type 1 diabetes in Asian and Caucasian populations.	池上 博司	内分泌・代謝・糖尿病内科
Tissue Antigens	Relative predispositional effects of HLA class II DRB1-DQB1 haplotypes and genotypes on type 1 diabetes : a meta-analysis	池上 博司	内分泌・代謝・糖尿病内科
Metabolism	Adrenocortical insufficiency in Otsuka Long-Evans Tokushima Fatty rats, a type 2 diabetes mellitus model.	大野 恭裕	内分泌・代謝・糖尿病内科
Cancer Lett. 2007 Apr 18;248(2):292-8	Down-regulation of survivin by ultraviolet C radiation is dependent on p53 and results in G(2)-M arrest in A549 cells.	Ikeda M, Okamoto I, Tamura K, Satoh T, et al.	腫瘍内科
Br J Cancer. 2007 May 21;96(10):1532-9	The novel microtubule-interfering agent TZT-1027 enhances the anticancer effect of radiation in vitro and in vivo.	Akashi Y, Okamoto I, Suzuki M, et al.	腫瘍内科

計 18

Clin Cancer Res. 2007 Apr 1;13(7):2281-9	Identification of a highly effective rapamycin schedule that markedly reduces the size, multiplicity, and phenotypic progression of tobacco carcinogen-induced murine lung tumors.	Granville C,Awarfel N,Tsurutani J,et al.	腫瘍内科
Clin Cancer Res. 2007 May 15;13(10):3051-7	AZD2171 shows potent antitumor activity against gastric cancer over-expressing fibroblast growth factor receptor 2/keratinocyte growth factor receptor.	Takeda M,Arao T,Yokote H, et al.	腫瘍内科
Int J Clin Oncol. 2007 Jun;12(3):218-23	Oxaliplatin/fluorouracil/leucovorin (FOLFOX4 and modified FOLFOX6) in patients with refractory or advanced colorectal cancer: post-approval Japanese population experience.	Shimizu T,Satoh T,Tamura K,Ozaki T, et al.	腫瘍内科
Anticancer Res. 2007 Jul-Aug;27(4c):2657-65	Phase I study of combination therapy with S-1 and weekly docetaxel for advanced gastric cancer.	Ozaki T,Tamura K,Satoh T, et al.	腫瘍内科
Cancer Chemother Phamcol 2007 Jul;60(2):285-93	Phase I study of TZT-1027, a novel synthetic dolastatin 10 derivative and inhibitor of tubulin polymerization, which was administered to patients with advanced solid tumors on days 1 and 8 in 3-week courses.	Tamura K,Nakagawa K,Kurata T,Satoh T, et al.	腫瘍内科
Clin Cancer Res. 2007 Sep;13(17):5183-94	Nelfinavir, A lead HIV protease inhibitor, is a broad-spectrum, anticancer agent that induces endoplasmic reticulum stress, autophagy, and apoptosis in vitro and in vivo.	Gillis JJ,Lopriccolo J,Tsurutani J,et al.	腫瘍内科
Invest New Drugs. 2007 Oct;25(5):499-504	Amrubicin for non-small-cell lung cancer and small-cell lung cancer.	Kurata T,Okamoto I, et al.	腫瘍内科
Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2007 Nov;69(3):786-92	Phase I/II Trial of Sequential Chemoradiotherapy Using a Novel Hypoxic Cell Radiosensitizer, Doranidazole (Pr-350), in Patients with Locally Advanced Non-Small-Cell Lung Cancer (Wjtog-0002).	Nishimura Y,Nakagawa K,Takeda K,Tanaka M, et al.	腫瘍内科
Lung Cancer. 2007 Dec;58(3):411-3	Sequential occurrence of non-small cell and small cell lung cancer with the same EGFR mutation.	Mormaga R,Okamoto I,Furuta K,Kawano Y, et al.	腫瘍内科
Mol Cancer Ther. 2008 Mar;7(3):599-606	Synergistic antitumor effect of S-1 and the epidermal growth factor receptor inhibitor gefitinib in non-small cell lung cancer cell lines: role of gefitinib-induced down-regulation of thymidylate synthase.	Okabe T,Okamoto I,Tsukioka S, et al.	腫瘍内科
J Thorac Oncol. 2008 Feb;3(2):187-9	Large cell neuroendocrine carcinoma of the mediastinum with alpha-fetoprotein production.	Takezawa K,Okamoto I,Fukuoka J, et al.	腫瘍内科
Br J Cancer. 2008 Feb 26;98(4):749-55	Enhancement of the antitumor activity of ionising radiation by nimotuzumab, a humanised monoclonal antibody to the epidermal growth factor receptor, in non-small cell lung cancer cell lines of differing epidermal growth factor receptor status.	Akashi Y,Okamoto I,Iwasa T,Yoshida T,Suzuki M, et al.	腫瘍内科
Br J Cancer. 2008 Mar 11;98(5):907-14	Multicentre prospective phase II trial of gefitinib for advanced non-small cell lung cancer with epidermal growth factor receptor mutations: results of the West Japan Thoracic Oncology Group trial (WJTOG0403).	Tamura K,Okamoto I,Kashii T,Negoro S, et al.	腫瘍内科
外科	吻合法-70年の歴史から学ぶこと:大腸手術:結腸切除術	奥野 清隆	下部消化管外科
Dig Surg	Surgical Treatment for Digestive Cancer in Japan: Current Issues: Colon cancer	奥野 清隆	下部消化管外科
手術	消化管のパウチ手術:直腸切除後のパウチ手術:悪性腫瘍に対する手術	肥田 仁一	下部消化管外科
消化器外科	非閉塞性腸管虚血症:腸間膜静脈血栓症	所 忠男	下部消化管外科
日本消化器外科学会雑誌	術後肝転移のリスク要因としての大腸癌間質におけるosteopontin陽性tumor-associated macrophageの局在	石丸 英三郎	下部消化管外科

Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery	Lack of FDG uptake in post-treatment positron emission tomography as a significant predictor of survival after subsequent surgery in multimodality treatment for patients with locally advanced esophageal squamous-cell carcinoma	Second author and corresponding author Takushi Yasuda	上部消化管外科
日本消化器外科学会誌	TS-1/CDDP療法が奏効し病理組織学上癌細胞が消失した進行4型胃癌の1手術例。	白石 治	上部消化管外科
Japanese Journal of Clinical Oncology	Multi-center phase II study for combination therapy with paclitaxel/doxifluridine to treat advanced/recurrent gastric cancer showing resistance to S-1 (OGSG 0302)	今野 元博	上部消化管外科
Hepatogastroenterology	Phase II study of 2-week TS-1 administration followed by 1-week rest for gastric cancer	今野元博	上部消化管外科
Oncology	Phase II study of a combination of irinotecan and S-1 in patients with advanced gastric cancer (OGSG0002)	今野 元博	上部消化管外科
Eur J Surg Oncol	Touch imprint cytology with cytokeratin immunostaining versus Papanicolaou staining for intraoperative evaluation of sentinel lymph node metastasis in clinically node-negative breast cancer	Fujishima M, Watatani M, et al	外科
Surg Today	Hematoma-directed and ultrasound-guided breast-conserving surgery for nonpalpable breast cancer after mammotome biopsy	Inui H, Watatani M, et al	外科
Cancer Chemother Pharmacol	Capecitabine and paclitaxel combination chemotherapy for inoperable or recurrent breast cancer: a phase I dose-finding study by the Kinki Breast Cancer Study Group	Masuda N, Taguchi T, Nakayama T, Watatani M, et al	外科
Cornea	Surgical therapies for acanthamoeba keratitis by phototherapeutic keratectomy and deep lamellar keratoplasty.	妙中 直子	眼科
Acta Ophthalmology Scandinavica	Longterm results of deep lamellar keratoplasty using grafts with endothelium.	檜垣 史郎	眼科
JAPANESE JOURNAL OF OPHTHALMOLOGY	A case of herpetic keratitis induced by electric stimuli to a facial nerve	飯沼 直子	眼科
あたらしい眼科	細菌性結膜炎に対するMoxifloxacin点眼薬の臨床第III層比較試験－多施設無作為化二重遮蔽比較試験－	下村 嘉一	眼科
Eye Contact Lens	Changes in the anterior and posterior radii of the corneal curvature and anterior chamber depth by orthokeratology.	月山 純子	眼科
日本眼科学会雑誌	眼の感染と免疫 ヘルペスの潜伏感染、再発、新治療法	下村 嘉一	眼科
Cornea	A-5021: A New Acyclovir Analogue Inhibits Murine Herpetic Keratitis.	板橋 幹城	眼科
日本コンタクトレンズ学会誌	オルソケラトロジーに対する意識調査	月山 純子	眼科
JAPANESE JOURNAL OF OPHTHALMOLOGY	Case of bilateral multiple herpetic epithelial keratitis manifested as dendritiform epithelial edema during primary kaposi's varicelliform eruption	檜垣 史郎	眼科
Scandinavian Journal of Plastic and Reconstructive Surgery and Hand Surgery	Molecular mechanisms of cleft lip formation in CL/Fr mice	磯貝 典孝	形成外科
再生医療工学の技術	耳介軟骨	磯貝 典孝	形成外科
Medical Science Digest	DDSを用いた軟骨再生医療	朝村 真一	形成外科

再生医療と美容	生体分解性ポリマーを用いた眼窩底骨折治療	朝村 真一	形成外科
形成外科	指先部切断におけるComposite Graftの検討	楠原 廣久	形成外科
形成外科	切断手指再接着の標準的方法	楠原 廣久	形成外科
外傷形成外科	切断肢・指再接着	楠原 廣久	形成外科
外傷形成外科	指節骨・中手骨骨折	楠原 廣久	形成外科
日本外科系連合雑誌	高齢者における顔面骨骨折手術症例の臨床的検証	松永 和秀	形成外科
日本外科系連合雑誌	小児の眼窩内側壁骨折の1治療経験	松永 和秀	形成外科
日本外科系連合雑誌	食道癌術後の難治性食道瘻に対する大胸筋皮弁の有用性—第2報 パッチグラフト、および嚥下食の工夫	松永 和秀	形成外科
日本老年医学会雑誌	高齢者の下がらない血圧にどう対処するか	金政 健	高血圧・老年内科
細胞 The CELL	糸球体微小循環の調節機構と治療	有馬 秀二	高血圧・老年内科
Osaka Heart Club	原発性鎖骨下静脈血栓(Paget-Schroetterの症候群)の1例	前嶋 哲也	高血圧・老年内科
Thyroid	Carcinoma arising in thyroglossal duct remnants with cervical lymphonode metastasis und microcarcinoma in the Thyroid	Kusunoki T ,Muarta K.et al	耳鼻咽喉科
Ear,Nose & Throat Journal	Extramedullary plasmacytoma of the larynx.	Kusunoki T,Murata et al	耳鼻咽喉科
Otology and Neurology	Idiopathologic changes of contralateral human temporal bone in unilateral Meniere's disease.	Kusunoki T.et al	耳鼻咽喉科
大阪耳鼻咽喉科医会会報	咽後膿瘍とその周辺疾患	楠 威志	耳鼻咽喉科
Facial Nerve Research	赤外線カメラを用いた顔面神経麻痺後の病的共同運動の検討	宮下仁良、斎藤和也、吉川 構、磯野道夫、村田清高	耳鼻咽喉科
Facial Nerve Research	耳炎性顔面神経麻痺症例の検討	吉川 構、磯野道夫、宮下仁良、斎藤和也、村田清高	耳鼻咽喉科
Facial Nerve Research	手術操作による顔面麻痺症例	斎藤和也、磯野道夫、吉川 構、宮下仁良、村田清高	耳鼻咽喉科
Otology Japan	鼓室形成術Ⅲ型	斎藤和也、磯野道夫、宮下仁良、村田清高、木村忠司	耳鼻咽喉科
Otology Japan	Open型先天性真珠腫の3例	斎藤和也、磯野道夫、木村忠司、唐沢千明、村田清高、木村忠司	耳鼻咽喉科
小児高血圧研究会誌	無水エタノールによる腎動脈塞栓術が著効した低形成腎による腎性高血圧の1女児例	田端 信忠、竹村 司 他	小児科

計 21

日本小児腎不全学会雑誌	血液透析中に日和見感染(肺真菌症・縦隔結核)を発症した2例	戸口 直美、竹村 司 他	小児科
日本小児循環器学会雑誌	小児期僧帽弁逸脱症の臨床像および中期予後	三宅 俊治、竹村 司 他	小児科
Clinical Nephrology	Association of INVS (NPHP2)mutation in an adolescent exhibiting nephronophthisis (NPH) and complete situs inversus.	Okada M. Takemura T. et al.	小児科
Clinical Nephrology	Chronic renal insufficiency in a boy with cystic renal lymphangiectasia:morphological findings and long-term follow-up.	Ueda S. Takemura T. et al.	小児科
Pediatrics International	Mycophenolate mofetil therapy for children with intractable nephrotic syndrome.	Okada M. Takemura T. et al.	小児科
Hepatol Res 2007; 37: 83-87	Hepatocellular carcinoma: international consensus and controversies.	Kudo M	消化器内科
Hepatol Res 2007; 37: 166-171	Role of tumor markers in assessment of tumor progression and prediction of outcomes in patients with hepatocellular carcinoma.	Kudo M	消化器内科
Hepatol Res 2007; 37: 193-199	New sonographic techniques for the diagnosis and treatment of hepatocellular carcinoma.	Kudo M	消化器内科
Hepatol Res 2007; 37: 210-215	Review of current staging systems for hepatocellular carcinoma.	Chung H	消化器内科
Hepatol Res 2007; 37: 216-222	International comparison of treatment outcomes based on staging systems.	Kudo M	消化器内科
World J Gastroenterol 2007; 13: 5775-5778	Well- to moderately-differentiated HCC manifesting hyperattenuation on both CT during arteriography and arterial portography.	Kudo M	消化器内科
Digest Dis 2007; 25: 303-309	Outcomes of non-transplant potentially curative therapy for early-stage hepatocellular carcinoma in Child-Pugh stage A cirrhosis is comparable with liver transplantation.	Takahashi S	消化器内科
Oncology 2007; 72: S2-S15	Management of hepatocellular carcinoma in Japan: Consensus-based clinical practice manual proposed by the Japan Society of Hepatology(JSH).	Kudo M	消化器内科
Oncology 2007; 72: S24-S29	Natural course of small nodular lesions with intranodular preserved portal supply in cirrhotic liver.	Fukunaga T	消化器内科
Oncology 2007; 72: S45-S51	Development of a novel assay to quantify serum human telomerase reverse transcriptase messenger RNA and its significance as a tumor marker for hepatocellular carcinoma.	Kudo M	消化器内科
Circulation Journal	Surgical repair for atrial septal defect associated with myotonic dystrophy.	Tatsuya Ogawa	心臓血管外科
日本血管外科学会雑誌	右総腸骨動静脈瘻を伴った腹部大動脈・総腸骨動脈瘤の治療経験	札 琢磨	心臓血管外科
Heart Surgery Forum	Cardiac tamponade due to a ruptured solitary mediastinal varix: a case report.	Toshio Kaneda	心臓血管外科
Heart View	【急性冠症候群診療 そこが知りたいbest strategy】治す急性冠症候群に対するCABGの適応	佐賀 俊彦	心臓血管外科
日本血管外科学会雑誌	開心術後遠隔期に発症したStanford A型大動脈解離に対する手術の検討	西野貴子	心臓血管外科

The Canadian Journal of Cardiology	Massive progression of annuloaortic ectasia in a patient with Takayasu aortitis.	Takehiro Inoue	心臓血管外科
Therapeutic Research	VascoExtor Viper Lead Removal Kitの使用経験	中本 進	心臓血管外科
Rheumatol Int	Effects of pravastatin in murine collagen-induced arthritis	Toshiaki Y,Masanori F et al.	腎臓・膠原病内科
Clinical Immunology	Deletion of IL-18 receptor ameliorates renal injury in bovin serum albumin-induced glomerulonephritis	Masafumi S,Masanori F,et al.	腎臓・膠原病内科
Reseach Signpost	Biological agents against autoimmune disease	Yuji N,Masanori F,et al.	腎臓・膠原病内科
Reseach Signpost	Update in Behcet's disease	Yuji N,Masanori F,et al.	腎臓・膠原病内科
脳神経外科ジャーナル	水頭症におけるRIを用いた髄液循環動態の検討	眞島 静, 赤井 文治, 種子田 譲	脳神経外科
J Neurosurgery	An adjustable nasal speculum for extended transsphenoidal approach: Technical note	Kitano M, Taneda M	脳神経外科
Neurosurgery	Icing and multi-layering technique of injectable hydroxyapatite cement paste for skull base reconstruction after transsphenoidal surgery	Kitano M, Taneda M	脳神経外科
J Neurosurgery	Postoperative improvement rate of visual function in tuberculum sellae meningiomas: Results of the extended transsphenoidal and transcranial approaches	Kitano M, Taneda M, Nakao Y	脳神経外科
Minimally Invasive Neurosurgery	Endovascular stent placement of cervical internal carotid artery dissection related to a seatbelt injury: A case report	Nakagawa N, Akai F, Fukawa N, etal	脳神経外科
Neurosurgery	Extended transsphenoidal approach to anterior communicating artery aneurysm: aneurysm incidentally identified during macroadenoma resection: technical case report	Kitano M, Taneda M	脳神経外科
Pharma Medica	アルテプラーゼ静注療法におけるエダラボンの併用効果について	寺本 佳史, 中島 義和, 出原 誠, 宗田 高穂, 蔡内 伴成, 伊藤 守	脳神経外科
The 25th Meeting of the Mt.Fuji Workshop on CVD	急性期虚血性血管障害に対するアルテプラーゼ(rt-PA)静注療法の検討 -当施設の12治験例から-	寺本 佳史、中島 義和、出原誠、蔡内伴成、伊藤守	脳神経外科
Medicament News	脳梗塞 -急性期治療の最近の考え方-	寺本佳史、加藤天美	脳神経外科
J Neurosurgery	Extended transsphenoidal approach for surgical management of pituitary adenomas invading the cavernous sinus	Kitano M, Taneda M, Shimono T, Nakao Y	脳神経外科
Minimally Invasive Neurosurgery	アルテプラーゼ静注療法におけるエダラボンの併用効果について	寺本 佳史、中島 義和、出原誠、蔡内伴成、伊藤守	脳神経外科
日本医事新報	急性期虚血性血管障害に対するアルテプラーゼ(rt-PA)静注療法の検討 -当施設の12治験例から-	寺本 佳史、中島 義和、出原誠、蔡内伴成、伊藤守	脳神経外科
Medico	脳梗塞 -急性期治療の最近の考え方-	寺本 佳史, 加藤 天美	脳神経外科
Neurosonology 神経超音波医学	Extended transsphenoidal approach for surgical management of pituitary adenomas invading the cavernous sinus	Kitano M, Taneda M, Shimono T, Nakao Y	脳神経外科
カレントテラピー	Metastatic Brain Tumor Surgery Using Fluorescein Sodium: Technical Note	Okuda.T, Kataoka.K, Taneda.M	脳神経外科

脳神経外科速報	難治性てんかんの外科治療	加藤 天美	脳神経外科
Brain Tumor Pathology	てんかん診療の新たなる展開ーてんかんの外科治療	加藤 天美	脳神経外科
泌尿器外科	腎癌に対するCA9ペプチドワクチン療法	植村 天受	泌尿器科
J Clin. Oncol.	STAT3 polymorphism predicts interferon- α response in patients with metastatic renal cell carcinoma	植村 天受	泌尿器科
World J. Urol.	Tumor vaccines in renal cell carcinoma	植村 天受	泌尿器科
臨床腫瘍プラクティス	特集 前立腺がんの診察(精巣腫瘍を含む)Stage 分類と治療方針 — どの治療が勧められるのか	田中 基幹	泌尿器科
腎泌予防医学	膀胱虚血・再灌流障害に対する黄杞茶の膀胱保護効果について	松本 成史	泌尿器科
Current View on Urology	下部尿路症状を科学する—膀胱血流の見地から—	松本 成史	泌尿器科
日本小児泌尿器科学会雑誌	小児期逆流防止手術の長期合併症:妊娠中に高度水腫症を来たし緊急処置を要した3症例	松本 成史	泌尿器科
腎と透析	神経因性膀胱の尿路のトラブル	松本 成史	泌尿器科
泌尿器ケア	Oh 脳！パーキンソン病の新治療	松本 成史	泌尿器科
泌尿器外科	シロドシンの射精障害:ヘルシーボランティアでの検討	松本 成史	泌尿器科
Arch Dermatol Res 299(1): 33-39, 2007	Properties and histochemical application of a novel antibody against trichohyalin granules	Takahashi M,	泌尿器科
小児科 48 (5): 838-842, 2007	紫外線による皮膚障害	川田 晓	泌尿器科
チャイルドヘルス 10 (5): 22-24, 2007	紫外線に対するスキンケアの方法	川田 晓	泌尿器科
皮膚臨床 49 (6): 745-747, 2007	腋窩に生じた副乳癌	鈴木 高子	泌尿器科
皮膚病診療 29 (6): 717-720, 2007	グリチルレチン酸とアレルギー性接触皮膚炎	太田 知子	泌尿器科
J Dermatol 34 (7): 441-446, 2007	New approach to the evaluation of skin color of pigmentary lesions using Skin Tone Color Scale	Konishi N,	皮膚科学
皮膚臨床 49 (7): 785-789, 2007	尿閉を併発した女性性器ヘルペス(Elsberg症候群)の1例	栗本 貴弘	皮膚科
J Dermatol 34 (8): 556-560, 2007	Successful treatment for recurrence of primary cutaneous anaplastic large-cell lymphoma in elderly patient with etoposide, mitoxantrone, cyclophosphamide, vincristine, prednisolone and bleomycin (VNCOP-B) therapy	Isogai R,	皮膚科
Fragrance J 35 (8): 16-20, 2007	レーザー治療の現状と課題	川田 晓	皮膚科
暮じと健康 62 (9): 79, 2007	やけどのあととシミ	川田 晓	皮膚科
皮膚臨床 49 (9): 1102-1103, 2007	バイクハンドルグリップラバーに含まれたメレカブトベンゾチアゾールによるアレルギー性接触皮膚炎の1例	太田 知子	皮膚科
治療 89 (10): 2852-2858, 2007	「女性外来(美容皮膚専門)」で行っている美容皮膚治療とは	小西 奈津子	皮膚科
J Dermatol 34: 727-729, 2007	Pustular psoriasis and vitiligo in a patient with Turner syndrome	Oiso N,	皮膚科

計 25

MB Derma 132: 154-159, 2007	サンスクリーン剤をどう使うか	川田 晓	皮膚科
日皮会誌 117 (12): 1949-1957, 2007	先天性色素性母斑における母斑性色素細胞の真皮内分布パターンの検討	吉田 益喜	皮膚科
総合臨床 56 (12): 3285-3286, 2007	乾癬の疫学と治療 - 最新の知見	川田 晓	皮膚科
皮膚の科学 6 (増刊9号): 38-42, 2007	「アトピー性皮膚炎に対する紫外線療法」に関するアンケートの集計結果報告	大磯 直毅	皮膚科
皮膚の科学 6 (増刊9号): 17-20, 2007	アトピー性皮膚炎に対する外用PUVA療法	川原 繁	皮膚科
日皮会誌 117 (13): 2374-2375, 2007	UVB療法	川田 晓	皮膚科
大阪保険医雑誌 35: 57-61, 2007	在宅で気をつけるべき皮膚疾患	川田 晓	皮膚科
Contact Dermatitis 2008; 58: 109	Allergic contact dermatitis due to sesame oil in a topical chinese medicine, shi-un-ko	Oiso N	皮膚科
加齢皮膚医学セミナー 3: 1-4, 2007	光老化皮膚の諸症状の治療のトピックス	川田 晓	皮膚科
加齢皮膚医学セミナー 3: 29-31, 2007	高齢者の皮膚悪性腫瘍	三宅 宗晴	皮膚科
Skin Cancer 22 (3): 282-285, 2007	悪性青色母斑が疑われた1例	笛屋 晴代	皮膚科
皮膚科の臨床 50 別冊: 244-245, 2008	Leopard症候群	川田 晓	皮膚科
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Phase I/II trial of sequential chemoradiotherapy using a novel hypoxic cell radiosensitizer, Doranidazole (PR-350), in patients with locally advanced non-small cell lung cancer (WJTOG-0002).	Nishimura Y, 他14名	放射線科(腫瘍学部門)
Thermal Medicine	Efficacy of mild temperature hyperthermia in combined treatments for cancer therapy.	Masunaga S, Nishimura Y, 他3名	放射線科(腫瘍学部門)
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Concurrent chemoradiotherapy for esophageal cancer with malignant fistula.	Koike R, Nishimura Y, Nakamatsu K, Kanamori S, Shibata T.	放射線科(腫瘍学部門)
Int J Clin Oncol	Treatment outcomes and dose-volume histogram analysis of simultaneous integrated boost method for malignant gliomas using intensity modulated radiotherapy.	Nakamatsu K, Suzuki M, Nishimura Y, 他7名	放射線科(腫瘍学部門)
癌の臨床	放射線治療に伴う晚期有害事象;食道がん	西村 恭昌	放射線科(腫瘍学部門)
癌の臨床	PET-CTシミュレーションによる放射線療法:現状と今後の展開	西村 恭昌、大久保 充	放射線科(腫瘍学部門)
J Card Fail. 13:663-667, 2007.	“BNP in Overweight and Obese Patients with Heart Failure: An Analysis Based on the BNP-LV Diastolic Wall Stress Relationship”	岩永 善高	循環器内科
Anadolu Kardiyol Derg. 7:268-269, 2007.	“Is BNP testing useful for detecting diastolic dysfunction?”	岩永 善高	循環器内科

J Jpn Soc Intensive Care Med	食道癌術後再建胃管潰瘍の心膜穿通をきたした1例	中内 祥文、谷口 貢、宮村 有紀子、林 孝浩、宮崎 俊一	循環器内科
JOURNAL of CARDIOLOGY	右心系感染性心内膜炎から敗血症性肺塞栓症をきたした心室中隔欠損症の1例	中内 祥文、谷口 貢、宮村 有紀子、石瀬 卓郎、宮崎 俊一	循環器内科
呼吸器科	高分岐鎖アミノ酸と栄養療法	久保裕一、東田 有智	呼吸器アレルギー内科
PROGRESS IN MEDICINE	吸入ステロイドの安全性	岩永賢司	呼吸器・アレルギー内科
臨床研修プラクティス	PK/PDを知る	宮良 高維	呼吸器・アレルギー内科
最新医学	市中肺炎の治療薬	宮良高維	呼吸器・アレルギー内科
International Immunopharmacology	Continued inhalation of lidocaine suppresses antigeninduced airway hyperreactivity and airway inflammation in ovalbumin-sensitized guinea pigs.	M.Muraki, R.Haraguchi, T. Iwanaga	呼吸器・アレルギー内科
日本老年医学会雑誌	高齢者の下がらない血圧にどう対処するか	金政 健	高血圧・老年内科
細胞 The CELL	糸球体微小循環の調節機構と治療	有馬 秀二	高血圧・老年内科
Osaka Heart Club	原発性鎖骨下静脈血栓(Paget-Schroetterの症候群)の1例	前嶋 哲也	高血圧・老年内科

計 10

合計 194件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なもの

を記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 工藤 正俊
管理担当者氏名	病院事務部長 大倉 健一

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医学情報管理課 医療連携課	診療録は平成20年度1月12日から電子カルテの運用を行っている。X線フィルムは一部を除き、フィルレス化の運用を行っている。なお、電子カルテ化に伴い、過去分は入院診療録過去5年分、X線フィルム過去7年分デジタル化し、電子保存している。外来診療六は順次スキャンし、現在35,000冊スキャン済み電子保存している
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	職員課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	医療連携課	
	閲覧実績	医学情報管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療相談・安全管理課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	安全管理部 感染対策室	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療相談・安全管理課	
確規保則の第 状9 況条 の 2 及 び 第 3 及 び 第 1 條 の 1 各 号 に 掲 げ る 体 制	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療相談・安全管理課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療相談・安全管理課	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療相談・安全管理課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療相談・安全管理課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	医療相談・安全管理課	

			保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の1各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染対策室	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策室	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策室	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	感染対策室	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学部	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	臨床工学部	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 工藤 正俊
閲覧担当者氏名	病院事務部長 大倉 健一
閲覧の求めに応じる場所	相談室 閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延	0 件
閲 覧 者 別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地 方 公 共 团 体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	5 9 . 0 %	算 定 期 間	平成19年 4月 1日～平成20年 3月31日
算	A : 紹 介 患 者 の 数		1 7 , 5 9 5 人
出	B : 他 の 病 院 又 は 診 療 所 に 紹 介 し た 患 者 の 数		1 1 , 7 8 9 人
根	C : 救 急 用 自 動 車 に よ つて 搬 入 さ れ た 患 者 の 数		9 5 7 人
拠	D : 初 診 の 患 者 の 数		3 9 , 6 6 7 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をDとの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(1名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(1名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・ 所属職員： 専任(2)名 兼任(13)名 ・ 活動の主な内容：添付資料1	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： 1. 総則 2. 安全管理委員会 3. 安全管理部 4. リスクマネージャー 5. 報告等にもとづく医療に係る安全確保を目的として改善方策 6. 安全管理のためのマニュアル整備 7. 医療安全管理のための研修 8. 事故発生時の対応 9. 患者相談窓口 10. その他	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年30回
・ 活動の主な内容： 1. 安全管理部の報告を受け、医療安全管理の検討及び研究に関するこ 2. 医療事故の分析及び再発防止策の検討並びに委員会によって立案された防止対策及び 改善策 の実施状況の調査及び見直しに関するこ 3. 医療安全管理のために行う職員に対する指示に関するこ 4. 医療安全管理のために行う院長等に対する提言に関するこ 5. 医療安全管理のための啓発、教育、広報及び出版に関するこ 6. 医療訴訟に関するこ 7. その他医療安全に関するこ	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年10回
・ 研修の主な内容： 1. 「そら」の知を医療へ 一考える機長を育てる一 2. 異状死体の届出義務と誰がいつ書く死亡診断書 3. 酸素ガス取り替えの注意、酸素ボンベのバブル操作時の注意、酸素流計量の取り付け方法 4. 人工呼吸器（医師対象） 5. 医療訴訟ガイド 6. 人工呼吸器（看護師対象） 7. 「麻薬の取り扱い時の関連法規について」 一施工前・施行後の取り扱いを中心に一 8. 院内暴力に対する対応 9. 個人情報保護について 10. 人工呼吸器（看護師対象）	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善の方策の主な内容：リスクマネージャー会議等を通じて全職員へ周知、院内LANに 掲載し周知を図り改善策の徹底を図っている。 安全管理研修参加状況の個人識別化	

(業務)

第4条 医療安全対策室においては、次の各号にあげる業務を行う

(2) 医療安全に関する日常活動に関すること

1. 定期的に医療安全対策室会議を開催し、必要事項を管理委員会に勧告する
2. 医療安全に関する現場の情報収集及び実態調査
3. 定期的な現場の巡回・点検、マニュアルの遵守状況の点検
4. マニュアルの作成及び点検並びに見直しの提言等
5. アクシデント・インシデントレポートの収集、保管、分析、分析結果などの現場へのフィードバックと集計結果の管理、具体的な改善策の提案・推進とその評価
6. 医療安全に関する最新情報の把握と職員への周知
7. 医療安全に関する職員への啓発、広報
8. 医療安全に関する職員研修の企画、立案、運営
9. 医療安全対策ネットワーク整備事業に関する報告、とりわけ「軽微な処置・治療を要した事例または影響の認められなかった事例のなかで警鐘的意義が大きいと医療機関が考える事例」の選定
10. 必要に応じてリスクマネージャー会議を招集する
11. 医療安全管理に係る連絡調整

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容 : 1. 院内感染防止対策に関する基本的考え方 2. 院内感染防止対策の組織の概要 3. 感染防止対策に関する職員研修 4. 感染症発症状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発症時の対応に関する基本方針 6. 患者等への情報提供と説明 7. その他の院内感染防止対策 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 3 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容 : 1. 院内感染防止対策の指針およびマニュアルの作成と改訂 2. 院内感染防止対策に関する情報の収集と職員への周知 3. 院内感染防止に関する職員研修の企画 4. 院内感染が疑われる事例等の原因究明結果と対策を職員に周知する 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 1 0 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容 : 1. 「第 1 0 1 回医師国家試験にみる院内感染対策関連問題」「セラチア菌感染症、血流感染症防止対策」「標準予防策と感染経路別予防策とは?」 2. 「輸血後感染症とその対策」「より良い培養検査の提出方法」一提出用献体採取の仕方と患者情報の入力について「最近検査室から返却されるMIC値の使い方」 3. 「手術室環境に関する課題」「エビデンスに基づいた手術部位感染対策」 4. 「標準予防策(特に尿・便の取り扱いについて)」「院内感染対策の基本:感染症発症時の対応、診断未確定疾患や危険な耐性菌発症時の対応など」 5. 「透析部における感染症対策について」「近畿大学医学部附属病院における病棟口腔ケアの必要性に関する一考察」「至急連絡:主な多剤耐性菌の解説と職員が広げないための注意事項」 6. 「外来採血室での感染対策」「新版 近大抗菌薬使用ガイドライン」の概要と解説 7. 「感染対策におけるNSTの関わり」「内視鏡部での感染対策」「院内のインフルエンザ対策」 8. 「院内感染のまとめ」 9. 特別講演「事例から学ぶ感染制御」 10. 「最近発生した院内アウトブレイクの解説 再発防止のためにすべきこと」 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善の方策の主な内容 : I C T ニュース、院内防止感染対策委員会、研修での感染対策防止に関する臨時情報提供により再発防止を図る 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容：新規採用看護師に対して薬剤の保管管理について 本年度研修医に対して処方オーダーの操作方法や麻薬の取扱い方法について 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 手順書の作成 (有・無) 業務の主な内容：手順書の見直しなどによる改訂作業や 病棟ストック薬品のチェックリストによる点検 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) その他の改善のための方策の主な内容：特に取扱いに注意を要する薬品（ハイリスク薬品） の表示方法などを改善している。 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 6回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容：人工呼吸器、保育器、P C P S、人工心肺、除細動等これらに関するME機器の使用研修 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 計画の策定 (有・無) 保守点検の主な内容：医療法に記載されている機器以外に保守点検が必要な特定保守管理機器の点検。点検項目および感覚は添付文書を参照している。 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) その他の改善の方策の主な内容：医療機器学会や医療福祉施設などの情報収集やその他安全管理部に寄せられる情報を基に予防策などを立てている。 また、修理の一元化を行い、今まで顕在化しなかったME機器・備品の安全性や感染面での見直しを行い、整備を行えるような体制を作りつつある。